

平成25年度 学校評価アンケートにおける共通評価の集計結果

本年度も学校評価にご協力ありがとうございました。本校の集計結果を報告いたします。嬉しいことにおおむね子どもたちは、学校が楽しく友だちとなかよく生活していると回答しています。しかし、学力の定着については、まだまだ課題が残されています。私たちはさらに「温かい学級・学校、分かる授業、信頼される学校」を目指して、努力を重ねてまいりますので、家庭・地域のご支援をお願いいたします。

子どもたちの健やかな成長には、家庭・地域の協力が必要です。どうかご理解をいただき、ご協力をお願いします。

項目	質 問 内 容	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない	無回答その他

心と体の健やかな成長をめざした支援体制の充実

児 童	あなたは、友だちとなかよく生活していますか。					
保護者	お子さんは、友だちとなかよく生活していると思いますか。					
教職員	学校は子どもたちが自分や友達を大切にしたり、他の人に思いやりの心を持って接することができるよう指導に努めていますか。					

本校の教職員は、一丸となって「豊かな心を持ち、確かな力でたくましく生きる高須の子」をめざし取り組んでいます。その結果、児童は、94.1％、保護者の方も96％という高い肯定的評価をしていただきました。しかし、「なかよく生活できていない」という回答もあります。その原因と課題を探り、人権教育や道德教育をしっかりと行い、温かい居場所づくりの学級経営に取り組むことで、友だちに思いやりの心をもって接することのできる児童の育成に努めます。

確かな学力をつけるための授業改善

児 童	あなたは授業がよくわかりますか。					
保護者	お子さんは授業がよくわかっていると思いますか。					
教職員	教員は、わかりやすい授業をするために工夫や努力をしていると思いますか。					

低学年では、具体物を使って、高学年では、活動を通して考えることの楽しさを、児童同士関わせることで、学び合う授業を目指して取り組んでいます。本校は、体験活動を重視し、「どの子もわかる授業」「児童がわかったと実感する授業」に向けて、授業改善に努め、100％の児童がよくわかる授業を工夫していきます。また、体得した知識を生活に活かすことで、学ぶ意義も意欲も向上すると思って取り組みを進めていきます。

子どもたちの進路を保障する指導

児 童	先生方は、学習や生活についての相談にいつでも答えてくれますか。					
保護者	教職員は、お子さんの学習や生活についての相談にいつでも応じていると思いますか。					
教職員	教職員は、子どもたちの学習や生活についての相談にいつでも応じていると思いますか。					

教職員は、温かい学級・学校づくりに心がけ、児童の相談には最後まで丁寧に応じようとしています。しかし、9.2％の児童が満足していないという結果を真摯に受け止め、全ての児童が安心して生活できる学校・学級の改善に努めていきます。児童の思いをしっかりと聞いて、児童の内面を共感的に理解して、支援できるように研究と修養につめるとともに、児童には、安心して相談できる教員を目指します。

平成25年12月実施

	対象者数	回収数	回収率
児 童	396 人	392 人	99.0%
保護者	755 人	718 人	95.1%
教職員	39 人	39 人	100%
地 域	15 人	8 人	53.3%

組織として機能する学校づくり

児 童	先生方は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれますか。					
保護者	学校は、子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に生かしていると思いますか。					
教職員	学校は、子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に生かしていると思いますか。					
地 域	学校は、学校や子どもたちの課題をオープンにし、保護者・地域住民と協力して解決できていると思いますか。					

児童や学校のためになることは、できる限り意見や希望を聞いて実現させたいと考えていますが、全ての児童が満足できるまでには至っていません。また、児童や保護者の方からの意見や希望を聞く機会がなく十分ではないこともわかりました。保護者や地域の方の意見を聞く機会を設ける工夫をし、学校施設や学校運営、そして児童や保護者の願いを少しずつかもしれませんが実現していきたいと思います。

子どもが健全に育つ家庭・地域づくりへの支援

保護者	学校は、家庭への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。					
教職員	学校は、保護者や地域への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。					
地 域	学校は、地域への連絡や情報提供（教育方針や取り組み等）を積極的に行っていますか。					

地域の方は、「子どもは地域の宝だといってくれます。」どこまでも学校や児童に協力を惜しみません。しかし、地域に子どもたちが少なくなり、地域と子どもたちの結びつきも少なくなっています。地域の方が子どもと触れ合う時間が少なくなり、学校の情報が伝わらないのが現状です。学校は、児童を通してもっと家庭と地域をつないでいける工夫し、地域に学校の取り組みを理解していただくよう努力していきたいと思います。

楽しい学校生活

児 童	あなたは、学校生活が楽しいですか。					
保護者	お子さんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。					
教職員	子どもたちは、充実した学校生活を送ることができていると思いますか。					
地 域	子どもたちは、充実した学校生活を送っていると思いますか。					

児童の85％が肯定評価をしています、15％の児童が楽しくないと回答しています。すべての児童が希望を持ち、自分のしたいことや夢を実現できるように、学力はもちろん仲間づくりや温かい学級づくりに力を入れていきます。そのために私たち自身の人権意識を高める努力を怠らず、子どもたちの思いを理解し、子どもたちに寄り添った支援を行います。すべての子どもたちが学校へ行くのが楽しみだと思えるような学校になるような教育活動を行ってきたいと思います。